

League communication EHIME

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝

連盟 あいひめ



会長あいさつ

会長 吉田 昭枝

厳しい夏が続きました。

みなさま体調を崩されなかったでしょうか。

先般9月2日に、第3回中・四国ポリナビワークショップが無事終了いたしました。

200名募集のところ、241名のご参加を頂き盛会に終わることができました。

これは中・四国ブロック青年部のみなさまが一致団結して計画・運営を下されたおかげだと思います。ポリナビに参加された方たちはきっと満足いただけたのではないのでしょうか。参加されたみなさま、ポリナビの内容を是非若いみなさまに拡散してください。

そのことが、政治や政策を身近に感じることに繋がると思います。

よろしく願いいたします。

ところで、来年4月に行われる松山市議会議員に看護職の代表として出馬を予定している人がいます。看護連盟歴38年の方です。「現場の声」を届け、制度を変えることは、日本看護連盟の役割です。それは愛媛県においても同じことです。地域住民の健康に寄与するためには、地方の議員に生の声を伝え、医療・看護・介護を今より良質なものに変えていくことが大事だと思います。

みなさま看護の代表に応援をよろしく願いいたします。



看護政策への決意

中予第二支部長 松本久美子

愛媛県看護連盟会員の皆さま、こんにちは。

平素は大変お世話になっております。この度私は済生会松山病院を退職し、看護職の代表として今まで培った知見を基に松山市政に参加したいと考えています。看護職の労働環境の改善や、地域に必要な専門性の高い看護職育成の支援、子育て世代の働きやすい環境づくり等を目標に取り組みたいと考えています。また、看護職の力で地域住民の健康を守り最後まで住み慣れた地域で暮らせ「生きることは素晴らしい」と誰もが思えるような社会を作ることに専念したいと思います。つきましては、皆さまからの応援を頂きたいと思っております。

よろしく願いいたします。

平成29年度日本看護連盟総会に参加して

一般財団法人永頼会松山市民病院 小松 忠



6月15日に日本看護連盟の通常総会が開催されました。前日に29名は東京入りし、国会議員が日々政治活動を行う議員会館を見学しました。議員食堂では「共謀罪」法案の成立に向けて審議している貴重な時間に、井原巧議員や山本順三議員が挨拶に見えられ地元議員と触れ合うことができました。自民党本部に移動し、総裁室、記者会見場を視察し30分程度自民党の歩みについての話を聞きました。厚生労働省に移動し大臣室で塩崎衆議院議員（前厚生労働大臣）と握手を交わし、高齢問題や受動喫煙に関する情報の多さと一つ一つの言葉に迫力と熱意を感じる事ができました。夕食の懇親会では、塩崎議員も参加して下さり会が盛り上がり、更に各支部

の役員との交流を通し団結を深めることができました。

通常総会には、愛媛県から46名、全国から2000人以上の方が集いました。草間会長が看護連盟の重点方針の一つとして「力強い組織の創成」を掲げ、看護政策の実現に向けて活躍しやすい状況にするためには、組織力が堅牢であることが必要である。会員が一致団結をして「力強い」そして「柔軟」な組織を目指しましょうと挨拶されました。前年度の活動報告や今年度の活動計画の審議が行われました。第25回参議院選挙では、石田まさひろ参議院議員が組織内候補者に決定されました。

総会後の国政報告会では議員たちから、様々な看護の問題について、都道府県看護連盟や施設を訪問し現場の声を政界に届けていきたいという熱意が伝わり、看護師の代表として日々政界で議論している議員の姿を見て自分自身もしっかり連盟活動を行いたいと改めて思いました。今後連盟活動をしていくための貴重な体験と2日間の有意義な時間を過ごすことができました。

国会見学に参加して

松山ベテル病院 中野 由美

6月14日、私たちは松山から羽田空港へ飛び立ち、そのあとバスに乗り1時間ほどで国会議事堂前に到着しました。国会では、私たちの1票が重要であること、そこから実際に看護政策が変わっていきます。『いい看護をした』という実感を持つためにはやはり法律を変えていくことも大切なことです。それを目前にできることを楽しみにしていましたが……。国会前には、多くの人ばかりと警察官や旗が見え、大声が響いていました。テレビのニュースなどでもよく見る光景で、いわゆる反対デモ隊です。そのための騒動と国会再開遅延により、予定していた国会見学は残念ながら出来ませんでした。

私たちは、議員食堂で、昼食の国会カレーを頂きながら、そこに愛媛県選出議員の山本順三先生と井原巧先生と各秘書の方が挨拶に来て下さいました。

そこから、徒歩数分の自民党本部へ向かうと、そこに小泉進次郎議員がいました。私たちは一斉にカメラを向けて大騒ぎ!!笑顔で快く一緒に記念撮影。このあと自民党総裁室の見学へ向かい、総裁の椅子に座り、みんなその気になり記念撮影しました。

続いてこの後は、厚生労働省へ行き、塩崎衆議院議員（前厚生労働大臣）とお会いし、熱い思いを聞くことが出来ました。また、参議院議員会館へ戻り、石田まさひろ先生の事務所へ行きましたが、残念ながら先生は国会再開準備が多忙でお会いすることはできませんでした。

国会は結局翌朝まで続き、先生方は夜勤並みです。先生方の活動拠点を見るだけにはなりませんが、看護連盟はなぜ必要なのか、国政に看護師が必要であることが少しわかったように思います。一看護師として、これからの社会のためにも応援していこうと思います。



愛媛県看護連盟総会に参加して

済生会今治病院 鎌田 香里



今回初めて愛媛県看護連盟通常総会に参加しました。県看護連盟や各支部の活動、連盟費運用などを知ることで、看護連盟への理解が深まりました。

そして何より、来賓の石田昌弘先生の、総会開始前の意見交換に驚きました。まさに、現場の生の声を聞いて答えるという姿勢に共感を持ちました。私たちの地域の病院や施設が抱えている問題や悩みを真摯に受け止められている姿勢に心強さを感じました。私たちの代弁者として、応援したいという気持ちにさせられました。

石田先生の話は看護師が抱えている身近な問題点について話されました。最も共感できたのは、増える看護師業務の中、記録手続きの簡素化への取り組みを推進するという話でした。また、将来を見据えたIT化が進む事で人工知能が進化し医療も変化する時代が訪れると話されました。看護師にはベッドサイドで触れ合うことで人工知能にはない素晴らしい技術もっています。それをいかすため、私たちが自信をもって働きやすい環境を作るため、国政という力を借りて、是非、現場の声を届けていただきたいと思います。



愛媛県看護連盟会員研修に参加して

松山記念病院 酒井 翼



7月22日に開催された今回の研修では、「SNSにおける情報発信の心得～あなたの個人情報管理は大丈夫？」というテーマで愛媛大学大学院准教授・木村映善先生よりSNSのメリット・デメリット、医療におけるプロフェッショナルリズムと個人情報の関係について学ぶことができた。SNSはパソコンやス

マートフォン、携帯電話から簡単に利用でき、大変便利なものであるがデメリットも多い。何気なくSNSに投稿した内容から患者さまのプライバシーが侵害され、患者さまとの信頼関係が簡単に崩れてしまう恐れがある。医療従事者は多くの個人情報を取り扱うため、その管理には十分注意する必要がある。私ができる個人情報の漏洩対策は、今回の研修で学んだことをスタッフ間で共有し、スタッフ一人ひとりが個人情報の取り扱いに対して意識を高めていくことである。

看護師は、患者さまの気持ちに寄り添い信頼関係を築き、その信頼関係に基づき看護を提供しなければならない。SNSで仮名化しているから大丈夫、自分のみの話題なら大丈夫、公開設定をしているから大丈夫、などと安易な気持ちで患者さまのプライバシーを侵害し、信頼関係を崩してしまうことがないよう個人情報の保護に努めていきたい。

第3回中国・四国ポリナビ

若手の会南予ブロック 市立宇和島病院 酒井 拓二

今回初めて、中・四国ポリナビに実行委員として参加させていただき、強く感じた事がある。それは医療、看護、福祉などの未来を担う中・四国9県の20～40代の看護職約250名が一同に会し、議論している際の会場内の熱気である。

今回、石田まさひろ先生の言葉の節々から、未来を見据えた際、看護職一人一人に大きな変化が求められている、という事を感じた。このことは会場内にいたそれぞれの参加者が少なからず感じたのではないと思う。

現在、看護に求められる社会的役割は多様化し細分化しているが、今後の人口減少、人工知能やロボット技術の進化、予防医学の発達などによって看護の担う役割はまた一つ大きな変化を迎えるのだと感じる。その中でプロフェッショナルとしてあるいは一人前の看護師として患者、病院、地域に対し自分はどうのことができるのかという難題を、様々な異なる立場の人が真剣に議論している空間には高い熱量があったように思う。

私が若手の会に所属したのは約2年前であるが、その当時の私は自発性に欠け、受動的な態度で連盟活動に臨んでいた。しかし、様々な連盟活動を通して、同世代の看護職の活躍を目の当たりにしたこと

や、連盟への理解が深まることで主体的な態度で活動していきたいと思うようになった。今回の中・四国合同ポリナビに参加し、他県の青年部の活動を知ったり、東予、中予ブロックの若手の会メンバーとの交流を持つことでその思いはさらに強くなった。

また、実際に私が働いていても看護師のマンパワー不足を感じる場面はあり、それを改善していくためにも看護の代表が国政で活躍することの意味は私たちにとって大きい。看護職免許を有する国民は推定230万人（潜在看護職推定約70万人を含む）であり、一つの職能団体として機能すれば大きな力になる事が予測されるが、現状は前回参議院議員選挙の得票率を見ても、伸びしろはまだ十分にあると言える。そのような状況の中で、連盟活動を通し、看護職同士、横のつながりを構築することができれば、看護業界全体の一体感につながるのではないかと今回の中・四国ポリナビを通して感じた。今回参加して学んだ事を今後の連盟活動に活かしていきたいと思う。



医療法人住友別子病院 志山 菜由

9月2日、『NEXT～自ら創る看護の未来～ 看護の思いを熱伝導に乗せて』と題し、第3回中国・四国ブロックポリナビワークショップが開催され、9県の若手連盟会員を中心に241名の参加があった。この会に初めて参加したが、看護連盟の歴史や看護連盟の活動を知り、看護と政治がどのように結びついているかが理解できた。看護師の代表である国会議員が私達の為にどのように活動してくれているかがよく分かった。

また、石田昌弘議員より、看護職の働き方改革に向けた取り組みや専門性の向上に取り組んでいるという話

また、石田昌弘議員より、看護職の働き方改革に向けた取り組みや専門性の向上に取り組んでいるという話



に加え、働く私たちの要望を現場の声として政策にのせ、実現するには看護職の議員を増やす必要性があるとお話があり、明るい看護の未来は私たちの活動や取り組みにかかっていると思った。

グループワークでも、「看護の未来のために私たちに何ができるのか」というテーマで話し合いを持った。その中で、現在の職場環境に満足していると思っている人は少なく私もその一人である。しかし、連盟の歴史の中で、看護師の代表である国会議員が、私たちの職場環境や処遇改善に大きく貢献してくれていた。更なる前進のために、今、私たちにできることは、一人ひとりが連盟の活動について理解し、選挙にきちんと行くことである。それが、職場環境改善の第一歩である。今まで、選挙に興味、関心が薄かったが、働きやすい職場環境を獲得するためには、選挙は大切であると痛感した。

今後、看護連盟の一員として何ができるのかを考えながら積極的に活動していくと決意できた一日であった。

ワークショップに参加して

東城看護専門学校

伊藤恵里奈・岩崎 嵩・三好康則



今回、中国・四国ポリナビワークショップに参加させて頂いて、学校などでは知ることのできない沢山の学びがあった。

まずは看護と政治・政策との結びつきである。今回参加するまではこの二つがどのように関係しているのかわからなかった。しかし、看護連盟の歴史を学び、石田昌宏議員の講演を聴くなかで、看護師の処遇や地位などを良くしていくために看護連盟や、看護師の議員が力を尽くしてくれていることを初めて知った。働く現場の声・要望を聞き、より良く働くことができるために改善していったことで現在の看護現場があるのだと思うと、これから看護現場で働く私達も意見や声を届けていくことが大切なのだと学ぶことができた。

そして、講演後は実際に現在臨床で働いている看護師の方々と一緒に「看護の未来のために」という題のもと、グループワークを行った。皆それぞれ働いている病院の規模や領域などは違うが、沢山の意

見を聞く中で一番多かったのが「より良い看護をしていきたい」という意見だった。そのためにはやはり心の余裕、体力的なもの、時間的なもの、福利厚生など「働く環境」が大切なのだということを感じた。沢山の看護師の方々の看護観に触れることができ、学生としてとても勉強になった。

セッションでは若者と政治を繋ぐためのという内容でプレゼンテーションが行われた。その中で、「選挙は遠い存在」や「自分が選挙に行かなくても何も変わらない」と思うのではなく自分の意思を表すことをしていかなければならないと感じた。

今回のポリナビワークショップで学んだことを学校などで伝えていきたい。そして私達学生も看護の未来について考えて、より良い看護の未来をつくりていきたい。



石田まさひろ参議院議員に 現場の声を届けよう!

愛媛県看護連盟幹事長 巻田すみ子

9月2日(土)10時30分～11時40分、第25回参議院議員選挙の組織内候補予定者に決定した石田まさひろ参議院議員に、現場の声を届ける会を開催しました。「中国・四国ポリナビワークショップ」での来県に併せての計画で、長沢恵美子日本看護連盟常任幹事も出席され、愛媛県看護連盟役員20名から石田議員に現場の声を届けました。

まず初めに、石田議員から大きく2点について話されました。1つは看護記録の問題。“2018年の診療報酬と介護報酬のダブル改定を前に、看護としては依然として改善されない看護師不足の状況の中で、仕事は増える一方である。ベッドサイドのケアを優先し、複雑な記録や届出書類を減らしていくことに取り組まなければと考えている。”もう1点は働き方改革の問題。“WLB(ワークライフバランス)の取り組みで、働きやすい職場作りを行ってきたが、一方で夜勤が集中する人達が増えて疲弊している。次

の国会予算審議で、夜勤手当のアップを通していく”ということが報告されました。

その後各支部長から活発な意見・要望を伝え、意見交換を行いました。診療報酬のために様々な書類、複雑な書式が増えて時間がとられ、現場のケアが圧迫されている実態。新人研修では、手がかかる現場の実態と、今の実習カリキュラムでの限界から研修の努力義務化については、努力を外して義務化してほしいこと。そして、そのための予算を取ってほしいこと。子育て支援としては病児保育と併せて学童保育の検討をしてほしいこと。また、特に療養・介護施設におけるノーリフトへの補助金の問題。定年後の働き方の問題や、政治塾を開いて欲しい等々、予定時間を延長して話し合いました。

石田議員は、その他にも支部からの意見(記録用紙)を全部持ち帰って下さいました。

現場で一生懸命努力しても解決できないことを、政策に繋げ解決していくために、私達の代表にしっかり声を届けていかなければと思いました。

退任のごあいさつ

前・副会長、中予第五支部長 政岡 千種

この度私事（夫の介護）で連盟活動を退かせて頂くことになった。12年前、実態をよく知りもしないで入ったが、丁度その年リフォーム連盟が発足し、小さな実行部隊のリーダーとなり悪戦苦闘。しかし、得るものも多かった。これからは出来る範囲で連盟活動を応援したいと思っている。

前・新居浜第一支部長 八木やよい

看護連盟の役員をさせていただくことで、ネットワークが広がり、また、看護は勿論、人間としても視野が広がり、私の人生において本当に意義のある9年間でした。本当に有難うございました。今後は、一人でも多くの方に看護連盟の活動を伝えていきたいと思ひます。

前・中予第三支部長 永江 隆

平成18年5月の支部認定当初から、今年6月まで支部長を務めさせて頂きました。前及び現会長・

役員の方々のご指導と、支部役員・リーダーの協力により、大過なく楽しく活動することができました。感謝申し上げます。

7月から監事に就いていますが、支部長の経験を活かす所存です。

前・看護教育支部長 辻 好美

異動により教育支部を離れました。多くの方が研修会に参加して下さったことに感謝申し上げます。今後も教育支部の活動にご協力をお願いいたします。私も一会員として連盟活動に参画していきたいと思ひます。

前・監事 亀岡 玉子

監事を2期務めこの度退任することになりました。看護連盟会員の皆さま方の会費の使用用途等について確認を行いました。大役であり緊張の連続でしたが、周囲の皆さま方のご指導を頂き、無事務めることができました。ありがとうございました。今後は中予第五支部長に就任します。よろしくお願ひいたします。

新任副会長あいさつ

済生会今治第二病院 正岡 美恵



今年度より、愛媛県看護連盟副会長を務めさせて頂くことになりました。吉田連盟会長の組織運営スローガンである【3S(スリーエス) ストロング：強い組織・スピーディー：機動力・スマート：頭のよい】を効率的に継続できるように連盟会員の皆さまや役員の方々の皆さまのご協力・ご指導を頂きながら、吉田連盟会長をサポートできるように努めたいと思ひます。そのためにも再度看護連盟の意義を認識すると共に、会員としてまた副会長としての役割を自覚し、日々活動を行いたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

新任役員 紹介

支部名	新支部長	支部名	新支部長
副 会 長	正 岡 美 恵	中予第五支部	亀 岡 玉 子
新居浜第一支部	鎌 倉 文 子	看護教育支部	矢 野 由 紀 子
中予第三支部	中 野 民 子	監 事	永 江 隆

看護連盟入会のご案内

看護連盟の目的

看護協会の目的達成のために必要な政治活動を行い、あわせて国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

看護連盟の活動

看護職の政治力強化に関する活動
看護職組織代表の国政進出と支援に関する活動

年会費

8,000円
(内訳 日本看護連盟：5,000円 愛媛県看護連盟：3,000円)

一人の会員が連盟を知らない一人を誘って会員の輪をひろげ、明るく楽しい活動をすすめてみましょう



編集 後記

9月のポリナビでは大変多くの皆さまに参加いただき盛況のうちに終わることができました。引き続き皆さまの熱い力で連盟の活動を盛り上げていきましょう。